

平成 2 6 年 第 2 回 定 例 市 議 会

*
*
*
*
*
*
*
*
*

行 政 報 告

北 海 道 恵 庭 市

第2回定例会が開催されるにあたりまして、第1回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

自衛隊の体制維持・強化について

はじめに、自衛隊の体制維持・強化について申し上げます。
昨年、国において新たな防衛計画大綱及び中期防衛力整備計画が閣議決定され、その中で、陸上自衛隊の定数を現定数に維持することや、北海道の訓練環境を一層活用していくことなどが明記されました。

現時点では、市内駐屯地の今後の具体的な改編等の方向性は明らかではありませんが、市といたしまして、本市の自衛隊体制維持・強化のため、市議会議長及び基地特別委員会委員長とともに5月13日には第7師団へ、22日には北海道防衛局へ、また29日には北部方面総監部などに対し、それぞれ要望活動を行いました。

今後も国の動向を注視しながら、国に対する中央要望を行うなど、引き続き自衛隊の体制維持・強化に取り組んで参ります。

防災協定の締結について

次に、防災協定の締結について申し上げます。

4月22日に、札幌開発建設部と災害時における「道と川の駅花ロードえにわ」の防災拠点化に関する協定を締結いたしました。

本協定は、災害時に「花ロードえにわ」を地域住民をはじめ道路利用者などを収容する避難施設として活用するものであり、今後、整備や運用等について協議を進める予定であります。

また、5月1日には、一般社団法人恵庭青年会議所と災害時及び防災活動に関する協力協定を締結したところであり、大規模災害が発生した際に相互に協力しながら応急復旧活動を行うとともに、平常時から防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るものであります。

今後も、民間企業や各種団体等との防災協定の締結を推進し、連携を図りながら、地域防災力の向上に努めて参ります。

職員採用試験方法
の変更について

次に、職員採用試験方法の変更について申し上げます。

職員の採用につきましては、現在、筆記試験、集団討論及び面接試験を行い選考しておりますが、先月の社会人を対象とした採用試験では、受験者の負担を軽減するため、筆記試験においてこれまで行っていた教養試験から、政治、経済等の社会動向に関する一般知識等を検証する経験者基礎試験に変更し実施いたしました。

また、大学卒の事務職採用試験では、これまで教養試験と専門試験を行ってりましたが、幅広く人材を確保する観点から、来月の採用試験から専門試験を廃止することといたしました。

地方自治体の業務が多様化する中、人物重視の採用試験に変更することにより、協調性や柔軟性、市民とのコミュニケーション能力の高い人材確保を進めて参ります。

恵み野駅西口土地
区画整理事業につ
いて

次に、恵み野駅西口土地区画整理事業について申し上げます。

工事の進捗状況については90パーセントほど完了しており、今月末には全ての工事が完了する見込みとなっております。

宅地の総販売区画数135区画に対し、既に47区画が販売済みと好調に推移し、商業系についても約8割が販売済みで、来年3月までには大半の商業施設がオープンする見込みであり、ショッピングモールの一角にはコミュニティスペースも設けられる予定と伺っております。

さらには、道道よりJR恵み野駅側にはスポーツ関連施設や社会福祉施設も立地する見込みであり、当初の予定どおり、平成29年3月には事業が完了する予定と伺っております。

(仮称)市民活動セ
ンター設置に向け
た取組みについて

次に、(仮称)市民活動センター設置に向けた取組みについて申し上げます。

昨年5月に、検討委員会より市民活動センター設置に関しご提言いた

いただいたことから、センターの開設に向け検討を行うため、昨年10月に第1回（仮称）恵庭市市民活動センター設立準備会を開催いたしました。

本年度は、引き続き設立準備会を開催し、センターの役割、機能等を具体化するとともに、運営の母体となる（仮称）運営協議会を設立するなど、開設に向け準備を進めております。

消費生活相談の機能強化について

次に、消費生活相談の機能強化について申し上げます。

本市の消費生活相談業務については、地方消費者行政活性化交付金を活用し、統括責任者を配置するとともに、相談員を3名から5名に増員いたしました。

さらには、相談時間の延長を行い相談体制の強化を図ったところであり、今後も、市民の安全で安心な消費生活の向上に努めて参ります。

新エネルギー・省エネルギーの促進について

次に、新エネルギー・省エネルギーの促進について申し上げます。

本市のエネルギー対策につきましては、これまでエネルギー対策協議会において、アクションプランの策定に関しご協議いただいたところですが、この度、スマートEーガーデンえにわプラン（恵庭市新エネルギー・省エネルギー実行計画）として成案がまとまり、パブリックコメントを経て、今後、策定となる運びであります。

本プランでは、エネルギーに関する現状や課題を幅広く的確に把握し、具体的な取組みを提示しており、今後、市民、事業者及び市が連携を図りながら、エネルギー対策の推進に努めて参ります。

焼却施設整備に向けた取組みについて

次に、焼却施設整備に向けた取組みについて申し上げます。

昨年12月、建設予定地であります中島松地区の町内会と協定を結ばせていただいたのち、本年2月より、焼却施設整備の考え方について、建設予定地周辺町内会や市民の皆様説明会を開催してきました。その

中では、施設整備に関わる様々なご意見やご要望をいただきました。

施設の整備にあたっては、整備開始から完成まで最短でも5、6年かかると想定されており、この期間の中で中島松町内会をはじめ周辺町内会からのご要望等に誠意をもって対応して参ります。

施設の建設に向けては、焼却施設の稼働による影響や施設の内容を市民の皆様にお示しする意味からも、施設の基本計画策定や調査等を実施することとし、別途、このための補正予算案を提案いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。

臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金について

次に、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金について申し上げます。

臨時福祉給付金につきましては、消費税率の引上げによる所得の低い方への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として実施するものであり、本市の支給対象者を約1万4,000人と見込んでおります。

また、子育て世帯臨時特例給付金につきましては、子育て世帯への影響を緩和する観点から実施し、本市の支給対象者を約8,900人と見込んでおります。

今後、今月下旬に対象と思われる方へ案内を行い、7月1日から申請受付を開始し、申請内容を審査した後、給付金を振込み又は現金で支給する予定であります。

子ども・子育て支援事業計画の策定について

次に、子ども・子育て支援事業計画の策定について申し上げます。

昨年9月に実施したアンケート調査をもとに、教育・保育等のニーズ量の推計を行ったところ、0歳児の推計ニーズ量が現在の認可定員の約1.5倍という結果となりました。

今後、市民ニーズに対応するため事業者と調整し、子ども・子育て会議において施設確保の方策を協議して参ります。

また、子ども・子育て支援新制度の円滑な推進を図るため、条例の整備が必要となることから、別途、議案を提案いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。

恵み野子どもの集
う場所の開設につ
いて

次に、恵み野子どもの集う場所の開設について申し上げます。

恵み野地区の子どもの集う場所「フーレめぐみの」が、4月9日、恵庭リサーチ・ビジネスパークセンタービル1階にオープンいたしました。

本施設は、ロッククライミングやボール遊びなどの軽スポーツや読書など子どもたちが自由に遊ぶことができる「子どもひろば」と、乳幼児と保護者が自由に集い交流し、育児相談や情報交換ができる「子育て支援センター」を併設した、市内3か所目の子どもの集う場所となり、学校法人産業技術学園が指定管理者として管理運営を行っております。

今後、本施設が、子どもや保護者が地域で安全で安心して過ごせる場所となるよう取り組んで参ります。

こすもす保育園の
民営化及び恵み野
保育園の開設につ
いて

次に、こすもす保育園の民営化及び恵み野保育園の開設について申し上げます。

こすもす保育園につきましては、昨年2月に事業者を学校法人リズム学園に決定した後、円滑な引継ぎを行い、本年4月1日から事業者による運営を開始いたしました。

今後、運営委員会の設置や保護者アンケートを行い、保育サービスの向上を図るとともに、来年5月に予定している恵庭駅西口再開発ビルへの移転後に一時保育及び休日保育を実施し、保育サービスの拡充を図って参ります。

また、市内8か所目となる認可保育園として、恵み野保育園が本年4月に開設し、5月1日現在で0歳児4名、1歳児10名、2歳児2名の計16名が入所しております。

農業振興について

なお、現在、市内に認可保育園の入所にかかる待機児童はおりません。

次に、農業振興について申し上げます。

農作物の作況状況であります。本年は4月から5月にかけて高温多照で経過し、水稲をはじめ農作物の植付け作業は順調に進みましたが、降水量の不足により秋まき小麦、てん菜、牧草等の生育が遅れていることから、今後、天候に恵まれ豊穰の秋を迎えることのできるよう、念願するところであります。

また、市営牧場につきましては、15戸から174頭の乳牛を受け入れ、5月22日に入牧を終え、10月中旬までの放牧が始まりました。

次に、農業者からの要望が多い有害鳥獣対策につきましては、道央管内4市やJA道央と一体となって国に対し要請活動を行うとともに、電気牧柵の設置に対する助成や一斉駆除などの対策を講じているところであります。

さらに、土地改良事業につきましては、本年度から国営恵庭北島地区の事業に着手するとともに、関連する中島松地区の西3線排水路の改修事業にも着手いたしました。

なお、本年3月に、恵庭や近郊の20代から30代前半までの若手農業者による交流団体「ルーキーズカンパニー」が、地域と連携した食育活動などが評価され、全国の若手農業団体の優良事例を選ぶ「優秀農業青年クラブ表彰」において農林水産省経営局長賞を受賞いたしました。恵庭の農業の将来を担う若手農業者の活躍は賞賛すべきものであり、大いに期待しております。

商業振興について

次に、商業振興について申し上げます。

本年度から2か年で実施する恵み野商店街活性化の取組みとして、恵み野地区のバリアフリー工事に併せ、商店街沿道の歩道照明や駐車スぺ

ースの設置、植樹柵の改修などハード面の整備を行う「恵み野商店街に
ぎわい創出環境整備事業」に着手いたしました。

なお、事業の実施にあたりましては、恵み野商店街からのご提案によ
り、商店街が主体的に花壇の植栽、管理を行うことや、市との協定によ
る駐車スペースの利活用について積極的に関わっていただくこととして
おります。

プレミアム建設券
の発行について

次に、プレミアム建設券の発行について申し上げます。

今年で5年目となるプレミアム建設券発行事業につきましては、4月
4日から受付を開始し、5月9日をもって受付を終了いたしました。が、
予定を上回り申込件数は151件、建設券の発行総額は約7,000万
円となっており、このことが地域経済の振興に寄与するものと期待して
おります。

工業振興について

次に、工業振興について申し上げます。

企業の工業団地への進出による設備投資の状況であります。昨年
10月に恵庭テクノパーク工業団地に進出した全日本食品株式会社の北
海道支社兼道央センターが本年4月に操業を開始し、さらには同工業団
地内において、パン製造企業であるエフビーエス株式会社が市内で2か
所目となる新工場について、来年5月の完成を目指し建設に着手いたし
ました。

このことにより、本市といたしましても新たな雇用機会の創出につな
がるものと大いに期待しております。

なお、今後の企業誘致促進に向けた取組みであります。市所有の工
業団地が完売していることから、引き続き既存工業団地内で売却希望の
ある未活用地を対象に誘致活動を進めていくこととし、進出を希望する
企業への積極的な情報提供に努めて参ります。

以上、はなはだ簡単ですが第1回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、今議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。